

# めぐみイエス・キリスト教会

2022年8月21日(日) 第三主日礼拝  
週報「通算第622号」



## 2022年標題聖句

### 第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌222「罪の深みに」	p. 336
【交読文】	No.22 詩篇第65篇	p. 896
【賛美Ⅱ】	新聖歌515「わが罪のために」	p. 819
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.13「主をほめ讃え続けよ」	
【聖書朗読】	使徒の働き19章1節～7節(新約p. 273)	
【礼拝説教】	《エペソでの十二名の弟子》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ※聖書箇所 使徒の働き19章1節～7節(新約p. 273)

19:1 アポロがコリントにいたときのことであった。パウロは内陸の地方を通過してエペソに下り、何人かの弟子たちに出会った。

19:2 彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いいえ、聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と答えた。

19:3 「それでは、どのようなバプテスマを受けたのですか」と尋ねると、彼らは「ヨハネのバプテスマです」と答えた。

19:4 そこでパウロは言った。「ヨハネは、自分の後に来られる方、すなわちイエスを信じるように人々に告げ、悔い改めのバプテスマを授けたのです。」

19:5 これを聞いた彼らは、主イエスの名によってバプテスマを受けた。

19:6 パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が彼らに臨み、彼らは異言を語ったり、預言したりした。

19:7 その人たちは、全員で十二人ほどであった。

### ●ポイント1.「エペソでの最初の伝道」とは？

#### ※使徒の働き18章19節～21節「ケンクレアの港町から」(新約p.272下段)

18:19 彼らがエペソに着くと、パウロは二人を残し、自分だけ会堂に入って、ユダヤ人たちと論じ合った。

18:20 人々は、もっと長くとどまるように頼んだが、パウロは聞き入れず、

18:21 「神のみ心なら、またあなたがたのところに戻って来ます」と言って別れを告げ、エペソから船出した。

### ●ポイント2.「ヨハネのバプテスマ」とは？

#### ※マルコの福音書1章4節～8節「荒野で叫ぶ者の声」 (新約p.65上段)

1:4 バプテスマのヨハネが荒野に現れ、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。

1:5 ユダヤ地方の全域とエルサレムの住民はみな、ヨハネのもとにやって来て、自分の罪を告白し、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。

1:6 ヨハネはらくだの毛の衣を着て、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。

1:7 ヨハネはこう宣べ伝えた。「私よりも力のある方が私の後に来られます。私には、かがんでその方の履き物のひもを解く資格もありません。

1:8 私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、この方は聖霊によってバプテスマをお授けになります。」

### ●ポイント3.「全部で十二人」とは？

#### ※マルコの福音書3章13節～19節「十二使徒の任命」(新約p.70上段中)

## ◎先週の礼拝メッセージ【第三次伝道旅行とアポロ】

《第二次伝道旅行を終えたパウロは、母教会のあるアンティオキアに戻って行きました。そこでしばらく滞在し、次はどこを目指すべきなのか、神様に祈り求め、またつかの間の休息を取ったかと思われま

さて、伝承によりますと、第一次伝道旅行は紀元48年～49年、第二次伝道旅行は紀元50年～52年、そして第三次伝道旅行が紀元53年～57年だと言われています。その行程ですが、第一次および第二次伝道旅行の時に訪れたリステラ、イコニオン、リカオニア、ピシディアのアンティオキアを経て、エペソに向かいます。愛弟子テモテの故郷であるリステラに今回も寄ることになりました。

この頃のことです。パウロが、ガラテヤ地方やフリュギアを巡っている時に、エペソにアポロがやって来たのです。アポロとは、アレキサンドリヤ生れのユダヤ人で、すでに「主の道の教えを受け」ていた彼は、「イエスのことを正確に語り、また教えていましたが」、その理解には欠けがあったのです。彼は、ヨハネのバプテスマしか知らず、そして聖霊も知りませんでした。会堂でアポロの話聞いたプリスキラとアキラは、その問題に気づき、家に招いて、正確にキリスト教信仰を教えた、とあります。この時、この夫婦は、アポロに按手して祈ったに違いありません。そして、彼も聖霊のバプテスマを受けることになります。

アポロは、プリスキラとアキラの紹介状を持って、アカイア州の首都コリントに向かいます。コリントのユダヤ人の会堂において、聖書によってイエスがキリストであることを証明し、人々の前で力強くユダヤ人

たちを論破し、恵みによってすでに信者になっていた人たちを、大いに助けたとあります。アポロのケースでは、彼にとっても、またエペソ教会のリーダーであったプリスキラとアキラにとっても、私たちの神様は、教会において、秩序を重んじられることを、教えているのです。》

### お知らせ

※8月28日(日)の第四主日礼拝は、時間を変更し、午後6時からとなります。また、9月からの礼拝は、通常の午前10時からとなります。